

2・生活習慣病のプレミアムドックが受診できる

一般の人間ドックをはるかに超えた詳細な健康チェック

【1 加齢に伴う動脈硬化】

・saLDLコレステロール、酸化LDL、レムナントコレステロール、脂肪酸4分画検査、糖尿病関連検査、メタボリックシンドローム関連検査、高分子アディポネクチン、好感度CRP、PAI-1、D-ダイマー、ホモステイン、CAVI

★動脈硬化を起こす要因を多方面から評価する。

LDL-コレステロールは悪玉コレステロールといわれ、動脈硬化を促進し、脳梗塞、心筋梗塞を引き起こします。

LDL-コレステロールは血管壁で酸化され、白血球の一種であるマクロファージは酸化コレステロールを食べて泡沫細胞となります。これが血管壁に付着して、プラークという脂肪の塊を形成します。プラークは動脈硬化を塞ぐ原因となり、脳に起きるのが脳梗塞、心臓に起きれば心筋梗塞となります。

また、この一連の過程は血管に炎症を起こし、動脈をさらに硬くします。

一般の人間ドックではLDL-コレステロールしか測定しませんが、当院のプレミアムドックでは酸化されやすい超悪玉コレステロール、酸化されているコレステロールの量、プラークが血管壁に付着している状態、炎症を起こす物質の量など多方面から動脈硬化の状態を評価し、それぞれの受診者にあった解決法を考えます。



2・生活習慣病のプレミアムドックが受診できる

一般の人間ドックをはるかに超えた詳細な健康チェック

【2 酸化・糖化ストレス】

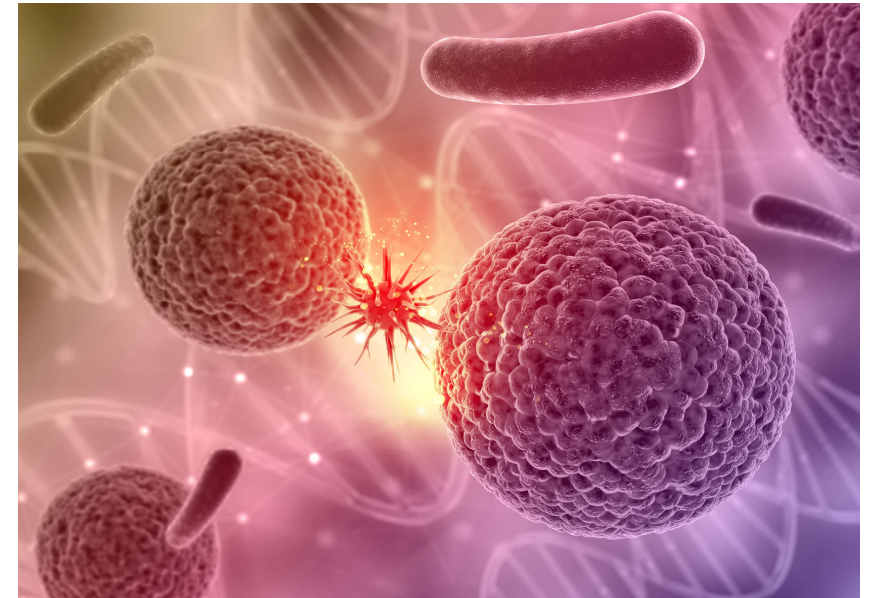
・dROM、BAP、8-OHdG、ビタミン、ペントシジン

★老化の主要な原因である酸化・糖化の状態を分析する。

老化の主な原因の一つは酸化です。これはいろいろな物質の酸素がくっつく現象で「錆びつき」に例えられ、酸素が結合した物質はもともと持っている機能を失ってしまいます。例えばコラーゲンは酸化されることによって保湿性や弾力性を失い、肌ではハリを失い、動脈では柔らかさをうしなっていきます。

それだけではなく、DNAが酸化を受けると正常な細胞をがん細胞へ変化させます。酸化は活性酸素が種々の物質に作用することが原因ですが、タバコ、紫外線、ストレスなどの原因によって活性酸素は増加します。プレミアムドックでは身体の中の酸化の状態などを測定し、酸化に対抗するための生活習慣、抗酸化サプリなどの解決法を提示します。

老化の原因としてもう一つ注目されているのが糖化です。これは「焦げつき」に例えられ、糖がタンパクにくっつくことで、そのタンパクの機能を抑えてしまう現象です。単に糖が多いからという理由だけではなく他の要素も関与して糖化は起こっています。プレミアムドックでは糖化の状態のチェックも行います。



2・生活習慣病のプレミアムドックが受診できる

一般の人間ドックをはるかに超えた詳細な健康チェック

【3 目に見えない身体内面の老化】

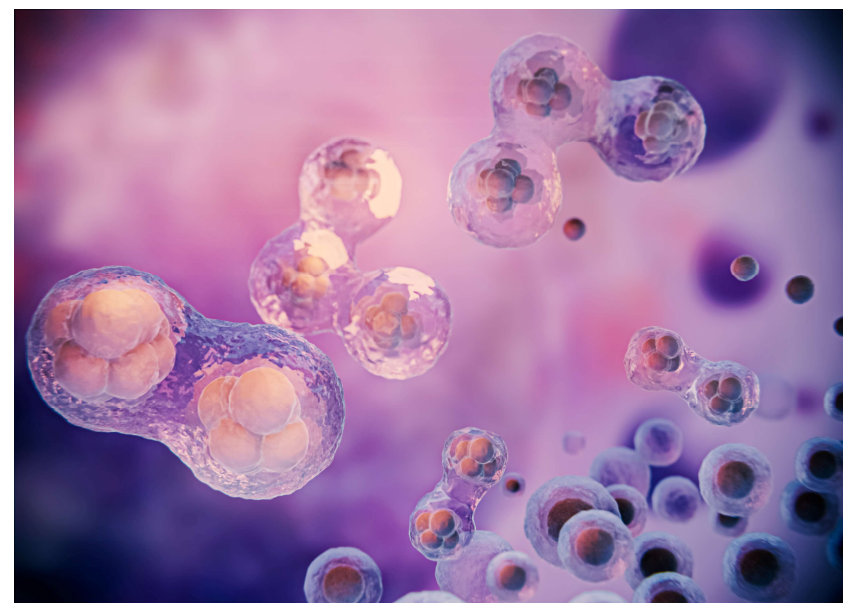
・NK細胞機能、骨折リスク検査、ビタミンD、NTX、TRACP-5b、カルシウム、無機リン、ホモシステイン、ビタミンB6、ビタミンB12、葉酸、ビタミンK

★内面で密かに進行する免疫や骨などの老化を評価。

加齢による変化は体内の目に見えないところでも起こっています。

特に免疫力は加齢と共に低下しています。免疫は細菌やウイルスなどの病原体を殺すだけでなく、がんを排除するにも重要な役割を果たしています。特にナチュラルキラー細胞（NK細胞）は一日5000個発生するといわれるがん細胞の排除に深く関与しており、プレミアムドックではあなたのNK細胞の活性を測定します。

また見えないところで老化が進んでいるのが骨です。骨折は要介護となる原因の14%を占めています。骨の強さを測るのによく骨密度という指標が使われますが、これは行ってみればビルディングのコンクリートの部分で、もう一つ重要なのは鉄骨の部分です。これは骨質と呼ばれますが、健診などでは測定されていません。プレミアムドックでは骨質の強さも測定します。



2・生活習慣病のプレミアムドックが受診できる

一般の人間ドックをはるかに超えた詳細な健康チェック

【4 ホルモン老化】

- ・甲状腺機能（FT3甲状腺ホルモン、FT4甲状腺ホルモン、TSH甲状腺ホルモン、抗サイログロブリン抗体）、
性ホルモン（DHEA、フリーテストステロン、エストロゲン、プロゲステロン）、老化関連ホルモン（成長ホルモン、インスリン、IGF-1）

★加齢をより促進させるホルモンバランスの変化を検査。

ホルモンは身体の機能を健康に維持するために重要な存在です。

このホルモンも加齢によってバランスが乱れてきます。成長ホルモンは小児の成長にだけ関与するものでなく、成人となっても組織の修復などに必要で、体力や代謝の低下、肌の老化に関係しています。副腎皮質ホルモンはストレスに対するホルモンですし、甲状腺ホルモンも代謝の維持に必要です。このような各種ホルモンの状態を測定します。



2・生活習慣病のプレミアムドックが受診できる

一般の人間ドックをはるかに超えた詳細な健康チェック

【5 気のせいといわれる不調】

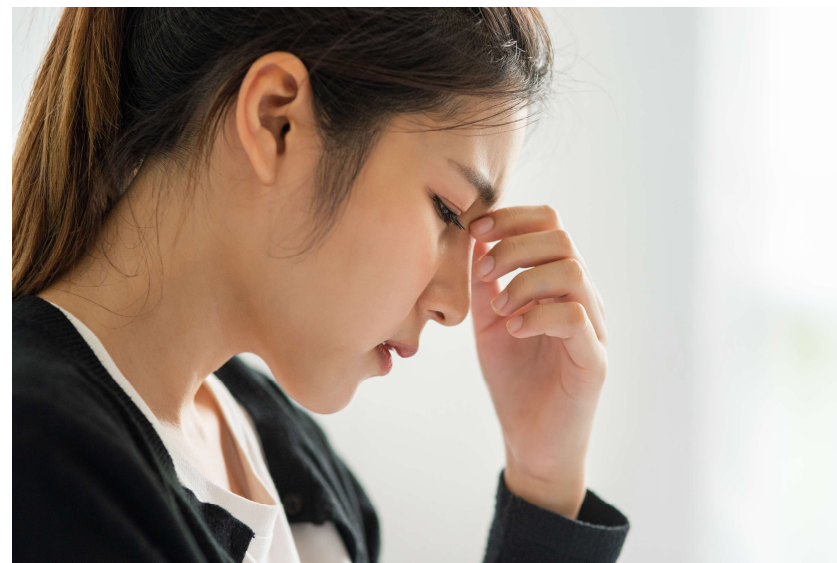
・副腎疲労（副腎皮質ホルモン、ACTH）、甲状腺機能低下（FT3甲状腺ホルモン、FT4甲状腺ホルモン、TSH甲状腺刺激ホルモン）、心機能（NT-pro-BNP）

★自分ではつらいのに他の人にはわかってもらえない体調不良の原因を精査。

怠くてしょうがない、やる気が出ない、でもドクターを受診しても「なんの異常はありません」と言われ、周りの人たちからは「ただやる気がないだけではないの」と言われる。

しかし、普通の検査では現れない、改善できうるホルモンや血糖値のアンバランスなど身体の問題が存在しているかもしれません。

その他の最近注目され、研究の進んでいる身体の不調の種々の原因についてはオプションの検査として調べさせていただきます（オプションの項を参照してください）。



2・生活習慣病のプレミアムドックが受診できる

一般の人間ドックをはるかに超えた詳細な健康チェック

【6 がんの早期発見】

・胃がん（ABC検査ヘリコバクターピロリ抗体）、肝硬変、肝臓がん（ヒアルロン酸、IV型コラーゲン7S、N-ペプチド、M2BPGi、ATX、フェリチン）

腫瘍マーカー男性（PSA、CEA、CA19-9、AFP、CYFRA、proGRP）

腫瘍マーカー女性（CA125、CEA、CA19-9、AFP、CYFRA、CA15-3、proGRP）

生活習慣プレミアムドック 料金：240,000円

★血液中の腫瘍マーカーの検査を画像診断と組み合わせてがんを早期に発見する。

ヘリコバクター・ピロリ菌感染は胃がんの原因であることが実証されており、ピロリ菌を除菌することで胃がんを発症する確率は30-40%減少と言われています。さらに除菌後に胃カメラを定期的に受ければ胃がんを早期に発見することができます。すなわち、ピロリ菌の検査し、胃カメラを定期的に行うことが、胃がん予防のために最も必要なことです。また、他の臓器のがんについては、プレミアムドックで各種の腫瘍マーカーを検査します。

がんについてもオプション検査ではさらに最新の遺伝子検査などを導入した最先端の検査を用意しています（オプションの項を参照してください）。

